



風っ子・環境キャンペーン

高崎市

グラウンド周辺ごみ拾い 地域に「きれい」恩返し 佐野ウインズソフトボールクラブ



恒例のごみ拾いを終え、清々しい笑顔を見せるメンバー、指導者、保護者のみなさん

佐野ウインズソフトボールクラブは、高崎市立佐野小学校（上佐野町）の男女18人が所属するクラブチームです。練習をしているグラウンド周辺のごみ拾いは、同クラブの恒例行事。「いつもお世話になっているグラウンドと地域

に恩返しをしよう」と年に3〜4回、メンバー、指導者、保護者総出で行います。晴天に恵まれた春の日、今シーズン最初の活動がスタート。きれいに見える道路や空き地ですが、近寄って見るとたばこの吸い殻やお菓子の包装紙、ペットボトルや空き缶などがたくさん落ちていました。行き場を失って寂しそうに転がっている、大きな植木鉢も見つかりました。

メンバーたちは、道路の隅や雑草の間に埋もれている小さな紙片を見つけると、競争するように次々と拾っていました。道行く人から「きれいになるね」「ありがとう」と声をかけられると、照れくさそうでしたが、一層張り切り、1時間後には45リットの袋3つ分ものごみが集まりました。「たばこの吸い殻がいっぱいあった。大人はマナーを守って」と言うのは五十嵐想太さん（6年）。荒牧恵太郎さん（同）は「草の間のよう



3つのグループに分かれ、小さなごみも見逃さずに拾います

やすとごみも減るのでは？」と、キャプテンの君島拓真さん（同）は「別の場所もきれいにしたいと思うようになりました」と話します。隣で練習をしていた関根陽日さん（佐野中2年）は「きれいに」なって気持ち良い。ありがとう」と笑顔で話していました。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

佐野ウインズソフトボールクラブ

磯山正美監督 18人

TEL:027-326-0882

創部/2003(平成15)年

<http://www.pref.gunma.jp/04/e0110035.html>

モットーは「忍耐、誠実、感謝」。関東大会への出場常連チームで、昨年の春は全国大会にも出場。メンバー募集中。佐野小学校以外でもOK。



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第29-110989号

拾う人は捨てないよ。
キミは拾う人？ 捨てる人？

身近にできるエコ活動

「待機電力」をへらそう

夜、部屋の照明を消すとかすかな光がテレビや家電から出ているのに気付くと思います。このように使っていないコンセントを差し込んだままにしているだけで、消費されている電力のことを「待機電力」と言います。家庭で使っている電気のうち約5.1%はこの待機電力といわれています。例えば一カ月1万円電気代がかかっていたら、510円が待機電力ということになります。エアコンやトイレの暖房便座など季節によって使わない時はコンセントから抜くようにしましょう！

群馬県環境アドバイザー 野呂久子